

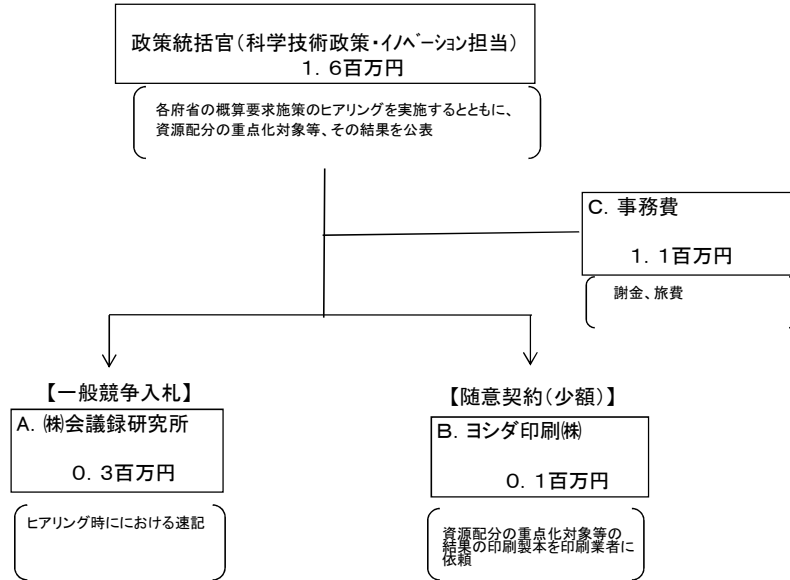
平成24年行政事業レビューシート

( 内閣府 )

<b>事業名</b>	科学技術関係予算の改革		<b>担当部局</b>	政策統括官 (科学技術政策・イノベーション担当)		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成18年度		<b>担当課室</b>	参事官(資源配分担当)		鈴木 裕道	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	内閣府設置法(平11法89)第26条		<b>関係する計画、通知等</b>	第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定) 科学技術に関する予算等の資源配分の方針 (平成23年7月29日総合科学技術会議決定)			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	質の高い科学技術予算の編成に向けて、科学技術政策担当大臣及び総合科学技術会議有識者議員が、各府省の概算要求施策について、科学的観点からの重要性、実現可能性等を判断し、資源配分の重点化対象施策等の判定を実施する。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度概算要求施策に対し、資源配分の重点化対象施策等の判定を実施するため、科学技術の専門家を招聘して、各府省の概算要求施策のヒアリングを実施する。</li> <li>当該ヒアリングにおける科学技術の専門家の知見を踏まえ、概算要求施策の改善・見直しの指摘や重点化対象の予算施策の特定を行うことで、質の高い科学技術予算編成に向けた取組を実施する。</li> </ul>						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	6	7	6	6	5
		補正予算	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	
	計	6	7	6	6		
	執行額	5	6	2			
執行率(%)	77%	93%	26%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	適切な資源配分の重点化対象施策の判定等に必要となる旅費・謝金等の諸経費の予算であるため、一定の数値により成果を示すことはできない。			—	—	—	—
	達成度		%	—	—	—	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	適切な資源配分の重点化対象施策の判定等に必要となる旅費・謝金等の諸経費の予算であるため、一定の数値により活動指標を示すことはできない。			—	—	—	—
	活動実績(当初見込み)		( — )	( — )	( — )	( — )	
<b>単位当たりコスト</b>	—		算出根拠	—			
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	3	3				
	委員等旅費	2	2				
	庁費	0	0				
計	6	5					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、各府省の科学技術関係予算に関し、重点化対象等を判定するものであり、メリハリのある資源配分を行う上で非常に重要である。</li> <li>・昨年度は、新たな重点化の仕組みの導入が遅れたため、外部専門家も出席する各省ヒアリングが小規模なものとなったが、今年度はヒアリングの対象を拡大すべく各省に対し早期に連絡を行い、改善を図る。</li> </ul>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議やヒアリングの日程を可能な限り集約することで必要な旅費・謝金の節減に努める等、費用の節減に努めている。</li> <li>・契約について入札等により競争性を確保し、コスト削減に努めている。</li> </ul>
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源配分の重点化対象等の判定については、総合科学技術会議において、資源配分の方針を決定し、それに基づく判定結果は、総合科学技術会議に報告され、総合科学技術会議から各府省に対し、予算に反映するよう意見具申が行われおり、その成果は十分活用されている。</li> </ul>
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き会議やヒアリング日程の集約等による謝金や旅費の節減など、経費の効率的な執行を行う。</li> </ul>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	予算の効率的執行に留意しつつ、事業内容の見直しを図り予算額の削減を行うとともに、引き続き会議やヒアリング日程等の集約等による謝金や旅費の節減に努める。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0052	平成23年行政事業レビュー	0048

※平成23年度実績を記入



注) 端数処理のため合計額とは一致しない。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

## 支出先上位10者リスト

### A. (株)会議録研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)会議録研究所	府省ヒアリング時の速記	0.3	2	—

### B. ヨシダ印刷(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ヨシダ印刷(株)	資源配分の重点化対象等の結果の印刷製本	0.1	随意契約 (少額)	—